

平成 22 年度第 1 回人材支援委員会の結果

今回は、委員の異動がありましたので、初めに自己紹介をいただいた後、議事に入りました。



1 平成 22 年度のタスクフォース (TF) の構成について

当委員会では、これまでナノテクノロジー関係の人材育成を大きなテーマの一つとしてきましたが、一方で、つくばイノベーションアリーナ (TIA) の中で「ナノテク大学院連携」として人材育成が図られていることから、当委員会では、「若手人材支援育成 TF」においてナノテクノロジー分野における若手人材育成の推進も含めて対応することとしました。

これに伴い、現在、大きな課題となっている「研究人材のグローバル化」に対応するため、新たに「グローバル人材育成支援 TF」を設置することとしました。

2 「各タスクフォースの平成 21 年度活動の総括と平成 22 年度計画」について

初めに、二タ村委員長から、「平成 22 年度は、当委員会の活動を実効性あるものにしていくため、機関横断的な人材育成のためのプロジェクトを打っていきたい、外向きの活動に取り組んでいきたい」とのコメントがあり、続いて各 TF のリーダーから、平成 21 年度活動の総括と平成 22 年度計画について説明がありました。

(1) 若手人材育成支援 TF

- ・ 「科学技術関係人材のキャリアパス多様化促進事業」は平成 21 年度をもって終了し、新たなステージに移行する。そうした中、TIA が、産学官連携による研究開発・人材育成の取り組みとして注目されている。
- ・ TIA は、 ナノテク共用施設、 ナノデバイス実証・評価ファンドリー、 ナノテク大学院連携を 3 つのコアインフラとしている。そのうち、ナノテク大学院連携は、ナノテク製造中核人材養成とイノベーション人材創出を柱としている。ナノテク製造中核人材養成に関して、製造現場実習に関して筑協会員の協力を得られないか。いかに企業を引き込んでいくかが課題と考えている。

(2) グローバル人材育成支援 TF

- ・ 日本の研究開発環境は、理工学離れ 企業の競争力低下 研究者・技術者の処遇の低下という負のスパイラルに陥っている。このような中で、研究人材のグローバル化を慎重に考えていく必要がある。
- ・ NIMS では、外国人研究者の採用を増やし、研究者比率は約 30%になっている。一方、その流出についても懸念がある。

外国の研究所のまねをし、外国人研究者を増やすだけでなく、世界に通用する研究者を育て、海外で活躍させることが真の研究所のグローバル化であると考えている。

(3) 女性研究者育成支援 TF

- ・ 農研機構では、男女共同参画本部、女性研究者支援室を設置し、キャリア支援、育児・介護支援、次世代女性研究者の支援に取り組んでいる。
- ・ つくばの 6 研究機関（*）が合同でシンポジウムの開催、男女共同参画宣言を行うなど連携が図られほか、各機関での取り組みが進んでいる。

* 物材機構、森林総合研究所、産総研、筑波大学、農研機構、農業環境技術研究所

- ・ 平成 22 年度は、女性研究者のキャリアアップを支援するため、メンター制度を導入する（40 歳未満の女性研究者 = メンティー = と 40 歳以上の男女研究者 = メンター = が交流・対話を行うもの）。国のプロジェクトが終了しても協力体制が維持できるように、後に残るものにしていきたい。

(4) シニア人材支援 TF

- ・ 研究機関・大学等の OB90 名が OB 人材講師登録リストに登録しているが、実際の活動は一部の方に偏っているのが現状だ。
- ・ 講師派遣以外の活躍の仕方があるのではないかと、活動の場をいかに広げていくか。

3 新卒採用・人材育成に関する調査の結果について

二タ村委員長から、平成 22 年 4 月～5 月に実施したアンケート調査の結果について報告がありました。

この調査では、茨城県内の研究開発志向の高い中小企業 80 社に調査票を送付し、20 社から回答を得ました。その中で、産総研の Dr's イノベーションが十分に知られていないこと、ウェブにのせるだけでは不十分であることが課題として認識されました。

4 その他

二夕村委員長から、「科学技術人材育成コンソーシアム」について情報提供（産業構造審議会資料）があり、当委員会として国のプロジェクトを取っていけないか、上記のコンソーシアムを作れないか検討したい、全員にコミットできなくても良いので、動けるものは動かしていきたいとのコメントがあり、了承されました。

日時 平成 22 年 6 月 9 日（水）午後 3 時 30 分～午後 5 時 30 分

場所 研究交流センター 2 階 第 2 会議室

出席者 委員長： 二夕村 森

（敬称略） 副委員長： 井上 勲、黒澤 景

委員： 櫛田浩司（代理：柴崎太郎）、相澤高史、西嶋昭生、
門間美千子、秋永広幸、田中裕一郎

オブザーバー：金井浩紫、宮本 宏

事務局： 山本哲也、柴原利継、矢部英雄